

大切な家畜を口蹄疫から守るために

口蹄疫とは...

牛や豚などにかかる伝染病です。
口や蹄に水ぶくれができるのが特徴です。
また、発熱や多量のよだれを流し、食欲がなくなったりします。

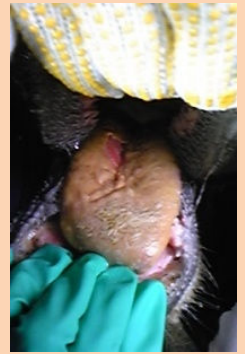


写真:宮崎県

更に詳しい口蹄疫の情報は、以下の動物衛生研究所のホームページでもご確認いただけます。
<http://niah.naro.affrc.go.jp/disease/FMD/index.html>

口蹄疫の発生予防・まん延防止のために 以下のポイントに気をつけましょう。

- 農場を訪問する車や持ち込む器具等は必ず消毒しましょう。
- 関係者以外の農場への立ち入りは極力控えましょう。
- 飼養する家畜の健康観察は毎日丁寧に行いましょう。
- おかしいなと思ったら、すぐに獣医師または最寄りの家畜保健衛生所に連絡しましょう。
- 毎日「飼養管理日誌」をつけましょう。

平成22年4月20日、宮崎県において、口蹄疫の発生が確認されました。本病ウイルスは非常に強い感染力を有していますので、各農場の飼養管理・衛生管理を徹底することが大切です。

裏面もご覧ください

**以下のような症状を確認した場合には、必ず
獣医師か家畜保健衛生所に連絡しましょう。**

宮崎県の事例における感染牛の写真(写真:宮崎県提供)

口内の水ぶくれ(初期の症状)



口内の水ぶくれ



多量のよだれ



今回の発生のその他のポイント

- ・発熱がある
- ・口内や舌のまわりがただれている
- ・食欲が減退している
- ・複数の家畜にこのような症状がみられる

連絡先

中央家畜保健衛生所(TEL 019-688-4111)
県南家畜保健衛生所(TEL 0197-23-3531)
県北家畜保健衛生所(TEL 0195-49-3006)